

冬（12～2月）の天候

2020年（令和2年）冬（2019年12月～2月）の日本の天候は、東・西日本で記録的な暖冬となりました。冬の降雪量は全国的にかなり少なく、北・東日本日本海側で記録的な少雪となりました。

2020年（令和2年）冬（2019年12月～2月）の天候の特徴は以下のとおりです。

○東・西日本で記録的な暖冬となりました

冬型の気圧配置が続かず、全国的に寒気の流入が弱かったため高温となる時期が多く、東日本以西の冬の気温はかなり高くなりました。特に、東・西日本では最も高い記録を更新しました（統計開始は1946/47年冬）。

○冬の降雪量は全国的にかなり少なく、北・東日本日本海側で記録的な少雪となりました

冬型の気圧配置が続かず、寒気の影響を受けにくかったため、全国的に冬の降雪量はかなり少なく、北・東日本日本海側では最も少ない記録を更新しました（統計開始は1961/62年冬）。

○冬の日照時間は、東日本太平洋側でかなり少なく、降水量は西日本日本海側でかなり多くなりました

低気圧や前線の影響を受けやすかったため、東日本太平洋側で日照時間がかなり少なく、西日本日本海側で降水量がかなり多くなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:574KB]

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko201202_besshi.pdf

問合せ先：観測部 計画課情報管理室 担当 村井(観測値や記録について)
電話 03-3212-8341 (内線 4154) FAX 03-3217-3615
地球環境・海洋部 気候情報課 担当 竹川(天候の解説について)
電話 03-3212-8341 (内線 3154) FAX 03-3211-8406